

市政を問う

未来の朝倉を想う

白熱の年末議会

質問者16人、傍聴者93人

柴山 恭子 議員

質問項目

- 1 教科書採択について
- 2 千代丸・堤線について
- 3 甘木公園について
- 4 成年後見制度について



Q 平成24年度市立中学校で使用される教科書が第8区教科用図書採択協議会で

選定され、各市町村の教育委員会で採択された。中学校社会日本文出版版では、「憲法9条は武力によらない自衛権だけを認めているのだから自衛隊は憲法に違反している。自衛隊の装備は自衛のための最小限の実力を超えている」といった意見が

あります。」とあるが、このような内容についてどのような意見が出されたのか尋ねる。

A 学習指導要領、目標を達成するための適切な教材

校正、印刷の具合など、様々な観点から調査研究がなされ、何回も協議が重ねられ選定された。議論の詳細については、事務局からの連絡の承知しかしておらず、詳細にわたって承知していない。今後十分に朝倉市を代表し協議会で議論いた

きたいと思うが、選定の仕組みの中での採択ということを理解してほしい。

Q 子どもたちが甘木公園

遊園地のブランコで遊べなかったのは塗装のためではなく水溜りのためで、もっと公園内を見回ることが大切である。今後の甘木公園構想は。

A 甘木公園については、

来年度都市公園長寿命化計画を策定する予定である。25年度より国の補助事業等も活用しながら、計画的に

採択された教科書はどんな議論だったのか

採択内容についての詳細はわからない



より良い教科書を子どもに届けたい

Q 誰もが訪れたいくなるまち「朝倉」とは

A 朝倉市を広域観光ルートにする宝探し

Q 新秋月郷土館（仮称）整備事業については。

A 1億円計上の内訳は、用地購入6千200万円、実施設計3千900万円で、用地は地権者の内諾を得ているが、契約はまだである。用地取得ができないと実施設計に移れない。また、事務上23年度に取得は難しいと思われる。

Q 秋月の杉の馬場通りは4～5百メートルあると思うが、この途中に公衆トイレは設置できないか。観光地としての必須施設ではないか。

A 新秋月郷土館建設時に公衆トイレを併設するように聞いているが、いつできるのか。

A 平成25年を開館目標にしている。

Q 仮設トイレやまちの駅

の店舗を臨時のトイレにと思つてあるようだが、全くトイレの標示がないので、市の方で「まちの駅」の協力を得て案内板を設置したらどうか。そうすれば観光客も気軽に利用できると思う。杉の馬場通りの公共トイレの設置は、土地と水利がなくできにくいと聞いているがどうか。

A 新秋月郷土館のトイレで考えており、必ずしも場所、水のことの解決策ではない。



田中 哲也 議員

質問項目

- 1 市長ビジョン6 誰もが訪れたいくなるまち「朝倉」とは

Q 秋月の街並み環境整備事業の進捗状況は。

A 事業ベース（発注済）で95%である。

Q 原鶴地域整備計画は。

A 契約、発注済である。

Q サンライズ柵木改修事業については。

A 契約発注済である。



観光地の早急な環境整備を望む（秋月杉の馬場通り）

Q ワンストップサービス

導入費用を改修工事費用でなく、住民サービス向上費用とするためには。そのために不可欠なものは。

A お客様を気持ちよくお迎えする、気持ちよくお帰りいただくような職員の心構えを徹底して、お客様に

とってわかりやすく安心で手間を軽減できる窓口業務を目指したい。

ワンストップをよい機会ととらえ、今後職員の接遇を図りたいと考えている。

Q 先日行われた高校生による朝倉市未来予想図発表会でも提言があつた「おもてなし精神」を全職員に意識づけるために接遇向上を意識したバッジを付けたらどうか。

A 市民の皆さんに気持ちよく帰っていただきたいという意思表示をすることは必要である。なかなかそれを上手く伝えきれていないので、具体的に示すことによって知っていただけたらと思うので検討したい。

Q 朝倉市の魅力（観光・特産品・農産物・文化・政策等）を発信するひとつの



住民への対応がどう向上するかが問題である

質問項目

- 1 ワンストップサービスについて
2 財政計画について
3 朝倉市の魅力について
4 機構改革について

桑野 博明 議員



Q ワンストップサービスが住民サービスとなるのか

A 市役所をもっと身近に感じていただきたい

A 市民の方に、近隣より朝倉市はこういったいい政策を行っていることをもっと知っていただきたいが、十分なホームページとは感じていない。

Q 朝倉市の魅力を日本全国に発信するために市役所に営業課を設けたらどうか。

A 何らかの形で積極的に情報発信ができるような組織にしていこうという気持ちは持っている。

Q 上水道設備の耐震構造について

A 既設の配水管については順次検討実施していく

鹿毛 哲也 議員

質問項目

- 1 上下水道について
- 2 収納対策について
- 3 官公需契約について



上下水道について

Q 上水道の耐震化計画などの策定計画は。

A 耐震化を進めるには、投資に莫大な予算を生じるので、水道会計事業の健全な維持を踏まえたうえで順次検討実施していく。

収納対策について

Q 今後の収納状況の見通し、将来の見通しについて、どのように考えているのか。

A 各課の債権について、債権回収に伴う実施計画書を策定し、確実に徴収していくことが必要。また収納対策課等で持っている市税の情報等を各課に提供し、規定の改正等に伴う分は、債権管理対策委員会を中心に取り組んでいく。

官公需についての中小企業の受注の確保に関する法律について

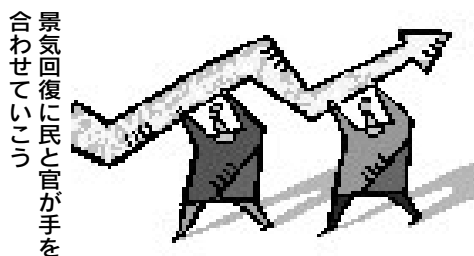
Q 朝倉市ではどのような取り組みをしているのか。

A 朝倉市の平成21年度の朝倉市官公需総額は、50億2千万円、そのうち41億6千万円、82.8%が中小企業が

受注している。

Q 景気が非常に悪いが、このパイをもう少し上げるようなことは考えられないか。

A 今の現状では厳しいが、その気持ちはきちんと持っておかなければならないと考える。



景気回復に民と官が手を合わせていく

浅尾 静二 議員

質問項目

- 1 公共交通拠点について
- 2 総合窓口（ワンストップサービス）について



Q 甘木中央バス停が重要な交通拠点であるならば、甘観バスの乗り入れ、トイレの整備、待合所の整備について昨年も同じ質問をしたがどのように検討したか。

A 歴史的な経過の中で、甘観バスの乗り入れができないのが現状である。まずは、担当課で西鉄との交渉を指示している。時期が来たら市長が直接西鉄に向いて話をする。

ワンストップサービスについて

Q 1階フロアを全面改装することで市民サービスの向上になるが、お金をかける以上、行政改革、行政の効率性にどのようなつながるか。

A 各市民の皆さんにわかりやすく安心してというのが総合窓口である。行革には直接つながらないと思う。お客様を気持ちよく迎え、お帰りいただくことを心がけている。



多くの市民が望んでいる
甘木バスセンター整備

Q 交通拠点としてのバスセンターの整備を

A まずは甘観バスの乗り入れを西鉄と交渉する

Q 合併優遇措置期間に計画ある財政運営を

A 将来の負担を考えて総合的に運営する

田中 保光 議員

質問項目
1 活力ある住み良い朝倉市づくりについて



Q 平成22年度決算では、財政の弾力性を示す経常収支比率は86.4%と改善がされているが、人件費と公債費の削減はされているものの、市税は毎年減少し、実質は国の政策による優遇措置を含む地方交付税や臨時財政対策債の依存財源の大幅な

増額等によるもので、自力による改善ではない。収入の特殊要因を除けば90%代後半と高くなり、依然として厳しい財政状況で、更なる行財政改革と、財源確保が必要ではないか。

A 22年度の決算は黒字になっているが、その要因は地方交付税・臨時財政対策債が13億円増え、これが大きな要因で、財政運営をしていくためには歳入を増やし歳出を削減する事が基本であり、税の徴収率を上げ若い世代の人を増やす施策等が必要だと思う。

Q 現市庁舎は約40年を経過し、耐震基準以前の建設で、さらには合併後の市庁舎としては狭く事務所も分散し不便である。いま合併特例債の活用期間はあと4年間であるが、更に5年間

延長される見込である。元利償還金の70%を交付税で補てんする合併特例債の適用期間に建替の検討をすべきではないか。

A 基本的には、学校等の耐震化を優先したい。合併特例債の5年間の延長も決定ではないがその方向で行くと思う。今後の状況を踏まえて一つの選択肢の中に入後入れていかなければならないだろうと思っている。



行政推進の拠点である市庁舎

Q 朝倉市の玄関口となる交通拠点はどこか。

A 中心市街地エリア内にある鉄道駅周辺と甘木バス停周辺であると認識している。長い議論の結果、これらを一につに絞るのは難しく、最終的に玄関口をどうするか明確な結論に至っていない。

い。

Q 中心市街地活性化のために甘木バス停の整備は必須条件である。市が買収して整備すべきではないか。

A 朝倉市の思いと土地所有者の考えを総合的に整理する必要がある。

Q 朝倉市民は甘木バス停に特別な思いがあることを西日本鉄道に伝えるべきではないか。

A 市長や職員は当社役員や担当者で面談しているが、未だ結論に至っていない。

Q 甘木バス停を整備するために具体的に何をしているのか。

A 商工会議所を中心に街中活性化協議会を設立し、そこで研究した結果を提言として受けた経過がある。

Q 朝倉市民の甘木バス停への強い思いを市長に託し

たい。市長の考えを聞いた。い。
A 自家用車の普及で路線バスに乗る人が随分減ったなか、あの甘木バス停の現状を見ると寂しい思いがする。相互乗り入れ問題を含め、いずれ時期が来たら、私自身が西鉄に出向き、バス停に対する思いを伝えながら交渉をしなければなら



朝倉市の玄関口としてはあまりにも寂しい

中島 秀樹 議員

質問項目
1 公共交通機関の拠点整備について
2 1人世帯の増加について
3 職員のヤル気の醸成について



Q 買収してでも甘木バス停を整備すべきである

A あの甘木バス停を見ると寂しい思いがする

Q 朝倉市のこれからの教育について

A 中学校区ごとに地域と一緒に考えていく

堀尾 俊浩 議員

質問項目

- 1 教育行政について
- 2 有害鳥獣について
- 3 市のシンクタンク設置について



Q 朝倉市教育施策要綱にあるように、教育は国家100年の計として、新たな教育基本法のもとに未来を切り開く教育を推進する必要があると明記してある。少子化が進む朝倉市ではこれから教育行政をどのように推進していくのか。

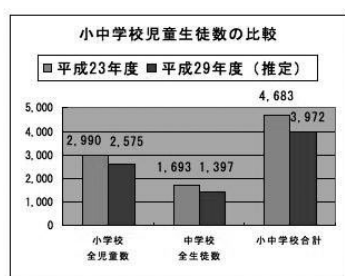
A 指摘の通り、少子化のため小中学校の小規模化が進んでいる。教育委員会としては、市内の中学校区ごとに保護者や地域の皆様と一緒に、今後、懇談会を開催しながら、将来を担う子どもたちをどのように育てていくか、どのような教育が望ましいかなど、10年後を見据えながら小中学校のあり方を考えてゆく。朝倉市の地理的状况なり要件などから、6中学校は現在のまま、小学校は6クラス以上、児童数は100人以上を適正規模と考えている。

Q 有害鳥獣による農林業の被害が拡大傾向にあると思われる。県内有数の面積を誇る朝倉市では農林業は基幹産業であるが、後継者不足と有害鳥獣の被害の拡大で耕作放棄の拡大が懸念

される。どのように対策をしているのか。

A イノシシ、シカによる被害は、近年、中山間地域を中心に増加拡大している。朝倉市有害鳥獣駆除対策協議会を設け、猟銃、わなでの駆除をしている。また国からの交付金等で電気柵、ネットフェンス、箱わなを導入し被害拡大防止に努めている。処理加工施設の問題は大きな課題である。県南一体となつてそのような問題も検討、勉強しなければならないと考えている。

Q 観光政策の具体的な進め方は情報発信能力を高めていく



国、県、市で一体的開発を

Q 原鶴温泉に水辺公園が建設されている。そこには、筑後川と原鶴大橋があり、国、県、市と一体的に開発したら素晴らしい公園ができるのではないかと。



富田 栄一 議員

質問項目

- 1 観光と産業について

A 山田堰の展望所については国、県、市と三者でやっていくことになっている。原鶴についても、もつと川を活用した温泉地づくりを民間の方々と一緒にやっていくべきと考えている。しかし、今回は、全体を一度にしていこうという計画ではないので、それぞれが異なつて取り組んでいる。

観光政策の目標は

Q 本年度の予算において、どのような柱で観光施策を行っているのか。補助金と委託金が大きく、観光振興について政策的な事業が無い。観光振興を何でやっていくのか。物を作ったら終わりではなくてその中には、ソフト的なものがある。テレビ局への依頼についても「何が目玉ですか。去年とど

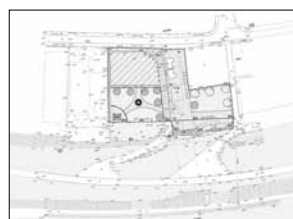
Q 縦割りではなくて、横断的に仕事をする観光課をつくってはどうか。朝倉市は、情報発信力が弱い。

A 情報を発信することが、苦手ではある。情報発信能力を高めていく。

横断的仕事の観光課を

A 産学官の連携した取り組みができないか、地域外の全体のいろんな有識者と打ち合わせをするといったことも今詰めているところである。

「これが違いますか。」と問われるはずだ。



水辺公園計画図